**■専門部会からの報告について**

**資料５－１**

**就労支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **■第２回就労支援部会** |
| 日時：令和６年９月２４日（火）　午後２時００分～午後３時３０分 |
| 会場：品川区立障害児者総合支援施設　地下１階多目的室 |
| **１．重度障害者等就労支援特別事業について** |
| 品川区の担当者から制度の概要、利用状況等の報告  ・この事業は、企業等で働く重度障害者の就労機会を拡大するもの。  ・具体的には、重度の障害のある方が勤務場所へ通勤する際の移動の支援、職場における書類の整備等の介助を実施する。  ・出席者から利用状況、今後の利用見込み、対象者の要件について質問があり、区から次のとおり回答があった。  ・現在までの利用状況は、通勤支援として同行援護を利用する方が２名決定。また、自宅で仕事をしている方で、パソコンを使用する上で支援を必要とする方から相談があった。この他、品川区の視覚障害者福祉協会の会員で働いている方から、通勤支援の相談が多くなっている。  ・今後の利用については、他区の状況から年間５件程度を見込んでいるが、実際事業が始まると相談も多く、他区よりニーズが高いと見込まれるため、必要な方には利用して頂けるよう対応をしていく予定。  ・対象者の要件にある「所得の向上が見込まれる方」については、制度の利用により通勤が可能になるなど、より働きやすくなることを目指している。 |
| **２．超短時間雇用促進事業の進捗状況の報告** |
| ・今年度から事業が本格実施し、企業にアプローチし、あわせて働き手となる方にも事業を周知している。  ・就労希望の登録者は８月末時点で２９名。登録企業は複数あるが現在紹介できる求人は４件。業務内容はテントの設営、軽作業やメール仕分け、清掃等。  ・マッチングが成功した就労事例は３件。保育施設の消毒や清掃、在宅での事務、施設での清掃の仕事。  ・在宅での事務に就いた方は、最初は慣れないこともあり、週末疲れが出ていたが、障害の特性に配慮していただいた仕事の内容と同じ部署内の方々のサポートもあり、現在では１日３時間、週４日間しっかり働けるようになったとの報告を受けている。  ・もう１例、保育施設で働いている方は、大学卒業後就職したものの会社になじめず、どこにも行き場がなく、社会に出るのが怖くなっていた方。本人からは、短時間の就労で無理なく始められて良かったという声を聞いている。企業からは、仕事の飲み込みが早いため、他の業務もお願いしたいという声が上がったが、本人が無理なく仕事を続けられるよう、規定されていない業務はお願いしないように職場内で調整し、業務を明確化しているとの報告があった。  ・マッチングにあたっては、企業に対して、この事業の理念を丁寧に説明し、賛同していただいた上で話を進めている。大企業になればなるほど、障害のある方を雇用しなければならない状況にあるが、仕事に関しては、ミスマッチが起きやすいため、業務の何をやるのか、どこまでやるのかを明確にしていただくよう伝えている。仕事に必要なことができていれば、本業に関係ないことは求めないようにしてもらうよう、伝えている。 |
| **３．自主製品の販売促進について** |
| 1. ８月２８日就労継続支援事業所課題検討会の報告   ・事業所が自主製品を持ち寄り、一つ一つの製品を確認し、どのようにすれば売れるのか、意見交換を行った。販路拡大に向けた情報発信方法として、区のホームぺージ以外にＳＮＳの活用について話があった。課題としては、事業者ごとに情報をアップするための決裁方法が様々であることが挙げられた。   1. 自主製品販売イベントについての報告   　　・６月１５日（土）「目黒駅中央改札」  ・７月１０日（水）「大井競馬場」  ・８月２１日（水）「臨海斎場売店・喫茶活動報告」  　　・１１月６日（水）「大井競馬場」予定  　　・１１月２３日（土）「桐ケ谷斎場」予定 |
| **４．就労系事業所の現状や一般就労につながった実績報告** |
| アンケート結果をもとに４～５人が集まりグループワークを行い、課題等について話し合った。概要は次のとおり。  **（就労移行支援・障害者就労支援センター）**  【一般就労で働く人の支援】  ・知らない間に就職し、連絡が取れなくなり、休職後に就労移行支援に戻ってきた方がいた。  ・本人が支援員となかなか連絡を取りたがらず、半年間就労移行のフォローアップができない。この場合、実績にも反映できない。  ・本人が支援員と連絡を取りたがらないときには、なかなか支援に結びつかない。  【事業所内の支援体制】  ・２事業所を限られた人数で回しているため、運営していくのに工夫を要する。  ・利用者の皆さんは働いているため、就労定着支援の相談が昼休憩や帰り際に電話で来る。このため、支援員が昼休憩や時間外で対応することになり大変。  **（就労継続支援Ａ型・Ｂ型・自立訓練）**  【課題・現状】  ・本人や家族の意向が大事。就職というより、福祉施設で過ごしたいという意向を持っている方は、なかなか就労に結びつかない。逆に就労に結びついた方は、本人も家族も就職を希望していた。  ・就Ｂの施設において、実費で企業実習まで行ったが実現できなかった。それ以来、就労への移行は、就労移行支援事業所と連携して行う方針でいる。  ・就労を希望する利用者の方はいるが、まだ本人の力が追い付かず、職員としても見極めが難しい。  ・施設の中で、一般就労に向けてのマニュアルがなく、今後作っていく必要がある。  ・福祉的就労からステップアップして一般就労に向かおうとする利用者が、最近少ないと感じる。  ・利用者の高齢化や障害の重度化が年々進んでおり、一般就労に向けての課題となっている。実際に希望者はいるが、現状として通所が安定的に行われているかどうか、本人の状況確認が必要。  ・施設側の課題としては、求人の情報をいかに得るかと職員が就労支援を行う上でのスキルが必要な部分もある。  【取り組み】  ・利用者が一般就労に向かえるよう、従業員向けに研修を行っている。 |
| **５．その他** |
| ・出席者から、利用者の工賃について、東京都の平均工賃と品川区の就Ｂの平均工賃との比較や目標設定などが必要ではないかとの意見が出されたため、今後部会としても確認していくことにした。 |
| 出席：部会長：区立発達障害者支援施設長 |
| 部会員：１．げんき品川 |
| ２．ジョブサ品川区 |
| ３．～キセキの杜～ジョブステーション大井町 |
| ４．キクロス大森駅前 |
| ５．福祉工場しながわ（プチレーブ） |
| ６．すまいる・さぽーと品川 |
| ７．ガーデン |
| ８．品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」 |
| ９．さつき |
| 10．第二しいのき学園 |
| 11．かもめ第一工房 |
| 12. かもめ第二工房 |
| 13．かもめ第三工房 |
| 14．トット文化館 |
| 15．ふれあい作業所西品川 |
| 16．ふれあい作業所西大井 |
| 17. TODAY南品川 |